



10月 歩路だより



秋の深まりを日々感じる今日この頃。気持ちのいい秋晴れの下、子どもたちはのびのびと体を動かして過ごしています。さて、10月8日は合同運動会が行われます。秋の季節を感じられるような課題を設け、課題遊びや運動遊びなどの活動を通して子どもたちに友だちと力を合わせたり、競ったりする楽しさを感じてもらえたらと思います。

10がつ

げつ	か	すい	もく	きん
3 うんどうあそび	4 かだいたあそび	5 さんぽ	6 おえかき	7 うんどうあそび
10 たいいくのひ	11 ひなんくんれん	12 しょくいく	13 おんがくあそび	14 せいかつあそび
17 かだいたあそび	18 おえかき	19 うんどうあそび	20 かんしょくあそび	21 くらすこうりゅう
24 せいかつあそび	25 さんぽ	26 おんがくあそび	27 かだいたあそび	28 おえかき
31 せいさく				

※10月3日は青少年研修センターで事前練習を行います。

※活動内容は、諸事情により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

《臨床発達心理士》松本先生：10月3日、5日、7日、8日、11～14日、17日、18日、20日、21日、
24日、25日、27日、28日

《言語聴覚士(ST)》二宮先生：11日、18日、28日、31日

《理学療法士(PT)》福山先生：5日、14日、18日、24日、

おしらせ

○お子さんの持ち物には、衣類等も含めすべてに記名をお願いします。

名前のないものに関しては、こちらで記名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○書類や薬をお子さんの鞆の中に入れる際は、お手数ですが連絡帳にその旨の記載をお願いいたします。

○晴天時は、活動予定を変更して、屋外遊びを行うこともありますので、毎日帽子を持たせて下さい。

職員通信 今月の担当は、勝目和樹です。



朝夕涼しくなり、皆様、体調等崩されておられないでしょうか。
私は、今年初めて夏バテを経験しましたが、歩路の子どもたちは夏バテ知らずで、毎日元気いっぱい登園してきてくれています。そんな子どもたちに元気を分けてもらい、なんとか夏を乗り切りました。これから、運動会やクリスマス会など年末に向け、子どもたちの楽しみな行事が目白押しです。子どもたちに楽しんでもらえるように、職員一丸となり頑張っていきたいと思えます。また、毎日子どもたちとの関わりの中では色々な発見がたくさんあります。お話が出来るようになったり、友だちと自分から積極的に関わりを求めるようになったりと、一日一日変化していく子どもたちに勉強させてもらっています。私もその糧になれるように日々、経験を積みながら成長していきたいと思えます。

専門職通信 今回の担当は、言語聴覚士 二宮佳美です。

助詞を用いた発話力の発達について



秋の空気が心地よい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、今回のテーマ「助詞を用いた発話」は、言語発達が3歳位になった段階から、誤りがありながらも使う様子が見られ、5～6歳半ばになった段階で、過半数が、意識して助詞や助動詞の文法表現を使い始めると言われています。

会話の中で出来る、助詞の使用を伸ばす関わりには、以下のような関わりがあります。

A. 発話の段階別の工夫

- ① 単語レベル：語彙を増やす。【物の名前→動作語→カテゴリー分類名（野菜・乗り物・動物等）→場所名・人名・色名→形容詞等へ】
- ② 2語文レベル：2語文での表現を増やす。「パパのコップは？」「○○ちゃんのくっくは？」等で選ばせたり、「パパの（コップ）」等、言わせる機会を作る。
- ③ 3語文が出始めたら：例えば、「どこにいく？」と聞き、「こうえん」と答えたら、「公園に行こう」と意識して返す。他にも、「何を食べる？」などでも応用する。
- ④ 3語文に慣れてきたら：「誰がする？」と言うやりとりや、「ママが○○ちゃんを洗うね」「今度は、○○ちゃんがママを洗ってね」等、主語に注目したやりとりを行う。

B. 上記の発話(単語～3語文レベル)すべての段階で、共通して伸ばしたいこと

- ① 一度に聞いて覚えられる単語の数を増やす：「△△を持ってきて」から「△△と、□□を持ってきて」と、3語位まで増やしていく。（近くにある物はより簡単で、遠い物ほど難しい。）
- ② 色々な音節(50音の「あ・い・う・え・お」等)の存在や、違いがわかる様に、ゆっくり・はっきりと、音節がわかるように話しかける。

日常の楽しいやりとりの中で、少しでも取り入れて頂けるといいでしょう。